大島の静かな空を守る会 会報

No.62 2019.4.15

# 静かな空

連絡先 742-2513 山口県大島郡周防大島町森 365 中尾久利 Tel+ Fax: 0820-78-1246

#### 瀬戸内ネット第11回総会へのメッセージ

### 瀬戸内海の静かな環境を守るネットワーク様

瀬戸内ネット第12回総会、及び設立11周年記念講演会の開催を心からお慶び申しあげます。

艦載機部隊の移駐が終り、岩国基地は極東最大の米空軍基地となりました。 これにともなう戦闘機の騒音、移駐部隊の兵員およびその家族の増加により、 地域住民の生活環境が大きく変り、アメリカ兵による交通事故や犯罪が、住民 生活に大きな影響を与えています。

#### 安保条約と日米地位協定

日米地位協定は我々日本国民にとって屈辱的な内容で、戦後 70 年、一言も 改定されることもなく、現在にいたっています。日本政府に改正の意思があれ ば、不平等な協定は改正できます。沖縄の普天間基地も、協定を改正すること によって基地をなくすこともできます。しかし今、沖縄県の反対を無視して辺 野古の基地建設が強引に進められ、美しい海も土砂の下に埋められています。

日米の暴挙のなかで、瀬戸内ネットの活動は今後ますます重要なものとなります。先般、国会議員、県知事等に送りました地位協定改正案は、少なくとも政府の心を動かしているといえます。

今後とも、瀬戸内ネットの皆様の心を一つにした活動をご期待して、祝辞といたします。

大島の静かな空を守る会 代表 中尾久利

参考資料 政府は1970年代ごろから、国会で「一般国際法上、外国軍隊には特別の取り決めがないかぎり、接受国(=日本国)の法令は適用されず、日本に駐留する米軍も同様」と答弁してきた。そのことを外務省のホームページにある「日米地位協定 Q&A」にも明記していたが(今年1月)11日に修正した。米軍には(日本の)国内法を原則として適用しないとする理由から、「国際法」の言葉を削った。日本弁護士連合会は、そういう国際法はないとし、「米軍にも日本法令にも適用するのが原則」と表明。沖縄県も国内法の制限が米軍機の飛行などには適用できないことを問題視しており、政府は地位協定への反発が強まらないよう、説明のしかたを変えることにしたのである。

(朝日 2019.1.13 要旨。外務省説明修正は瀬戸内ネット「提言」発送から 14 日後)

### 議員発言(要旨)

### 国の騒音測定器でデシベル表示させる

### 周防大島町のホームページに岩国基地の情報ページを新設

**周防大島町議会3月議会 田中豊文** 昨年8月、町民団体から町長に、町独自に騒音デシベル測定器を設置してほしいとの要望書が提出され、併せて町ホームページに岩国基地関連の情報提供のページを設置することも要望された。

「周防大島町は、山口県で唯一、米軍再編によって騒音が激化する地域として認められ、それが単なる一部地域の懸念ではなく、広い範囲で訴えられている現実となっていますので、周防大島町民のぎりぎりの生活環境を守るために、まずデシベル測定器を設置して、毎日、昼夜とおして記録する体制を確立していただきたいと思います。再編交付金はまさにそのためにこそ使われるべき財源でしょう。町民の生活を守ることを第一に考えて誠意あるご回答をお願いします」

とされており、町長から、騒音測定器の設置やホームページでの情報提供について「検討する」という回答がなされた。しかしいまだにその検討結果の回答はなされていない。要望書に対する検討の状況及び検討の結果をお尋ねする。 断水事故等もあったので、回答に手間取ったとは推察するが、その後の具体的な検討状況や実現への道筋について回答をしていただきたい。

**岡本義雄**(総務部総務課) 田中議員の「米軍戦闘機の騒音と安全対策について」の質問にお答えする。

昨年の8月29日に町民団体から、町独自に騒音デシベル測定器を設置することについての要望があった。本町としては、国の方で設置箇所を増設し、客観的なデータの取得を行っていくことが重要と捉えており、町議会においてもそのように答弁を行っていることを伝えるとともに、更に測定器の設置箇所数を増やすことについては、国に対して要望していきたいと回答した。

その後、中国四国防衛局と、現在の町内 5 箇所に設置された騒音測定器が記録した騒音データについて、町がデシベル情報を使用することができないか、調整を行い、数値確認ができるよう、おおむねの調整が整ったところである。

町ホームページでの情報提供については、年度内を目途に掲載を実施していきたいと考えている。

**参考資料**『静かな空』No.60(2018.10.1)「町独自に騒音デシベル測定器を 設置 ―― 検討する」

### 米軍機の衝突事故 飛行中止を求めて

周防大島町議会12月議会 砂田雅一議員 通告した一般質問に入る前に、12月6日の午前1時40分に米軍岩国基地所属の海兵隊FA18戦闘攻撃機とKC130空中給油機が高知県沖で接触し、墜落をした。本町町民の安心・安全にとって大変重要な問題であり、触れないわけにはいかないので、発言する。答弁は無理には求めない。

この事故について米軍は、事故の深刻度を示す4つの分類のうち、最も重要なクラスA、カテゴリーAに当たると公表をしている。カテゴリーAとは、損害額200万ドル、日本円にして約2億2,500万円以上の事故を指す。

米軍の事故が余りにも多過ぎる。岩国基地に所属する米軍機だけでも、11月12日に沖縄県沖で空母ロナルド・レーガンの艦載機 FA18が墜落したばかり。2年前の2016年12月にも高知県沖でFA18が墜落した。

こうした米軍機の事故はこの5年間で2倍に増えた。KC130空中給油機は岩国基地に15機配備されている。この飛行機はジェット燃料を、ドラム缶でいえば200本分の燃料を積んで飛行しながら、ほかのジェット機に空中で給油できる能力を持っている。普通のガソリンよりも低温で発火するジェット燃料を大量に積んだ飛行機が、もし人家に墜落すれば大惨事は免れられない。こうした事故が起きたときは、いつも再発防止策を求めるということが行政側から言われますが、これだけ事故が繰り返されると、この要望は全く効果を果たしていない、空虚な言葉になっている。

岩国市長などのコメントに従うというのが周防大島町の姿勢でもあるが、岩国市長は航空機の運用について見直しを要望するという見解を出した。はっきりと飛行中止は求めていない。町長の行政報告でも、飛行中止の要求については言及がなかった。事故原因が究明されるまでは、これら米軍機の飛行停止を米軍に求めるべきだ。さらに墜落事故に関する情報提供、あるいは滑走路の時間外運用の使用禁止を米軍側に求めることを要望する。

### 大島の静かな空を守る会 定例会議 2019年4月8日

- 1 町ホームページに岩国基地関係のページが開かれた。 爆音のデシベル測定・データ公開については、町の政府交渉の経過を見守る。
- 2 伊方原発 運転差止仮処分申立が却下され、住民が即時抗告。活断層から 600m という証 言もあった。
- 3 「静かな空」62 号のコピー・発送の手順確定。
- 4 「守る会」代表委員が事実上1人になったので、中尾久利(森)、河本正道(日前)の 2名に加わってもらうことになった。。

### 艦載機移駐は岩国にどんな被害をもたらしたか

山口県議会 11 月定例会 井原すがこ議員 11 月末に約 40 機の艦載機が岩国 に帰還し、その翌日から騒音が格段に激しくなっている。艦載機の帰還状況と 騒音被害の実態、それに対する県の認識は。

**答弁** 国によると、7月17日と22日、約50機、11月28日と29日にも約50機の艦載機が岩国に帰還した。11月にはW値(うるささ指数)や騒音発生回数が増加した。実態把握を行い、問題があれば必要な対応を求める。

井原すがこ議員 11月12日、岩国基地所属スーパーホーネットが沖縄県沖で 墜落して、市民の不安が高まった。原因究明と安全対策まで飛行停止を求める べきだ。

**答弁** 国は「安全点検を実施、安全を確保」と説明。飛行停止は求めないが、 再発防止と実行ある安全対策を要請する。(『県議会報告』平成30年11月から)

### 大島の皆さんへ

拝啓 梅香る季節となりました。お変わりなくお過ごしでいらっしゃいますか。 昨秋の大島大橋送水管破断事故では、皆様のご苦労はいかばかりだったかと、 お察し致します。

いつも『静かな空』をお送り頂きまして、心より御礼申し上げます。拝読する度、勇気づけられています。お手数おかけするばかりで何のご連絡もせず申し訳ありません。

現在、私は 98 歳の母と暮らしています。今朝も早くからグワーン、ゴォーという米軍機の爆音にイライラさせられました。母は飛行機の音が響きわたると、戦時中の惨事を思い出し、恐ろしいと顔を歪めます。市役所へ苦情電話をかけるくらいしか抵抗はできませんが、続けていこうと思います。

今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

岩国市黒磯町住民

### 米軍機の飛行を確認する監視カメラを

「岩国基地の拡張・強化に反対する広島県住民の会」(坂本千尋共同代表) が4月2日、岩国市に、米軍機の飛行状況を把握する監視カメラを設けること、離着陸機監視の「岩国市協力員」の得た情報を公開することを要望した。 担当部長はカメラ設置の考えはない、情報公開はする、と回答。(中国 4.3)

### 協力金のお礼

2019年2月1日に和木町の方から協力金1000円、10日岩国市由宇町の方から協力金5000円、2月15日岩国市黒磯町の方から82円切手10枚と協力金5000円を頂きました。大変元気づけられます。ありがとうございました。

## "沖縄県民投票の結果を尊重すべきだ"68%

普天間飛行場を名護市辺野古へ移設する計画に対して、沖縄県民の7割以上が反対した。共同通信社の全国電話世論調査によると、この県民投票の結果を

「政府は尊重すべきだ」とした回答は 68.7%に上ったが、

「尊重する必要はない」は19.4%にすぎなかった。(中国 2019.3.11)

### 国家権力が猪突猛進する時・・・ 都道府県知事の役割は

3月1日、沖縄県の県民投票の結果をたずさえて、玉城沖縄県知事が安倍首相と会談しました。この時玉城知事は「沖縄の基地負担軽減策をまとめた日米特別行動委員会(SACO)のような日米の協議に「県」を加える、新たな枠組みを求めた」といいます。この委員会には日米両政府の代表が参加するが、沖縄県の問題を協議するというのに、沖縄県の意見を代表する委員が入っていなかいので、沖縄県代表を加えた委員会にすることを求めたのです。

瀬戸内ネットは『日米地位協定の改定のために 提言』において、「地位協定」第25条2の「合同委員会」に、日本国代表、合衆国代表に加えて、「全国知事会を代表する都道府県知事1人」を加えるように「協定」を改定することを提言しました。沖縄県知事の提言は、沖縄県代表を日米合同の委員会に加えるという「知事としては極めて現実的な提案」であり、瀬戸内ネットの『提言』と同一線上の構想です。しかし首相も政府も知事の提言を「取り合おうともしていない」そうです。(『朝日』3.2、『中国』3.3 など)

瀬戸内ネットは『提言』を安倍首相、河野外務大臣、岩屋防衛大臣に送りましたが、「合同委員会」に県知事の参加を求めた私たちの改定案を、政府がどう受け止めたでしょうか。沖縄県民投票の結果にたいする外務・防衛両大臣の発言も、どこにも見当たりません。地方の意志を無視して独走する安部首相は、一体どこへ行こうとしているのでしょうか。

一方、全国知事会の会長である上田清司埼玉県知事は、瀬戸内ネットが送った『提言』にたいして、これまで「全国知事会」が研究し、国に申入れしてきたことの重点を説明し、「安全保障に関することは国の専管事項ですが、私たち地方自治体は住民の安全や生活を守るという観点からこれからも働き掛けを続けていきます」と結ぶ、誠意ある信書を送ってきました。さまざまの制約を課せられているはずの県知事が、時代錯誤のような安倍首相の国家権力主義におびえることなく、沖縄県と全国都道府県の県民を守る決意を述べたことに敬意を表し、これから国民に地方の底力を見せていただきたいと思います。

### 周防大島町のホームページに「岩国基地情報」の窓口開設

昨年8月22日「大島の静かな空を守る会」は、椎木町長に2つの要望を提出しました。

- 1 米軍機の爆音のデシベル値と日時などを記録する爆音測定装置 を、町独自の予算で設置してほしい。
- 2 町役場のホームページに岩国基地関係情報の窓口を開設してほしい。 町長は「検討する」と回答しましたが、水道管切断、橋の損傷という事故のた め実現が手間取り、3月議会で田中議員から督促の発言がありました。(本誌記 事参照)総務課長の回答どおり、ようやく町ホームページに、岩国基地情報の 窓口が開かれました。

パソコンのインターネットで**「周防大島町役場」**を検索すると町のホームページが表示されます。**「航空機騒音の受付」**をクリックします。

- ○「岩国基地航空機騒音に関する騒音等苦情受付について」には、周防大島 町総務課、中国四国防衛局、防衛局岩国防衛事務所の電話番号が出ます。
- ○「周防大島町への報告(入力フォーム)」をクリックすると、町へ要望や苦情をいう用紙が出ますので、これに苦情を書くことができます。
- ○「周防大島町内の航空機騒音状況(騒音測定結果)」で「中国四国防衛局ホームページ」をクリックすると、町立三蒲小学校、浮島小学校 久賀小学校、大島中学校、町役場油田出張所の5地点別の、月別・日別のLden値、騒音度 W値、騒音(70 デシベル以上が5 秒間以上つづいたとき)の発生回数が表示されます。70 デシベルとは「騒々しい事務所の中、騒々しい街頭など」。

### えっ!! 建つの?! 上関原発?!

経団連の中西会長ですら「国民が反対するものはつくれない」と発言しているにもかかわらず、中国電力は、上関現地のボーリング調査を再開し、抗議の声に「原発は事故を起こすもの。だから安全な新しい原発をつくる」「原発技術を残すため新規が必要」と言って、上関原発計画を強引に進めようとしています。(「上関原発をたてさせない山口県民連絡会」の集会呼びかけ文書から)

### 爆音がひどい時は下記へ電話してください。

**苦情電話** 周防大島町総務課 0820-74-1000 (夜間も受付)

岩国市基地政策課 0827-29-5024(夜間 0827-29-5111)

防衛省中国四国防衛局 0827-21-6195

米海兵隊岩国航空基地 0827-79-5551